

食品ロス等の削減に向けた県内の取組計画

資料5-3

分野	団体等名称	令和4年度以降に実施予定・検討中 (令和4年度から新たに実施するものには(新)と記載)
生産	JA富山県 女性組織協議会	(新)エシカル消費、食品ロス削減につながる実践的な活動の推進 ・技術力アップによる廃棄量の削減 ・規格外品を加工品へ利用 ・11/27フードドライブを実施したところ、会員より371点57kgの食品提供があり、富山県社協へ提出した。
	全国農業協同 組合連合会 富山県本部	・技術力アップによる廃棄量の削減 ・規格外品を加工品へ利用 ・廃棄品の畜産農家への無償供給 ・廃棄品の肥料化の検討
	富山県漁業 協同組合連合会	・鮮魚や加工品向けとして取引されない魚を肥料、飼料の原料として提供 ・魚食文化の普及(魚のさばき方教室の開催)
	富山県農業 協同組合中央会	・技術力アップによる廃棄量の削減 ・規格外品を加工品へ利用
製造	(一社)富山県 食品産業協会	(新)フードバンク活動拡大事業(県の委託事業):比較的小さな規模、エリアでのモデル事例の構築や検証を踏まえ、食品関連事業者から発生する未利用食品の有効活用を促進するため、さらなる提供事業者の確保に向けた普及啓発やマッチングの推進を通じて、県内でのフードバンク活動の拡大を図る。 ・商慣習検討専門部会への参加 ・広報誌などによる食品ロス削減運動の周知
流通 (卸売・小売・外食)	アルビス株式会社	(新)鶏肉の一部を産地でパックし、消費期限を延長 (新)海産ミールキット(真空冷凍パック)による消費期限の延長 ・納品期限の緩和となる商慣習の見直し ・恵方巻等の季節商品の予約販売の強化 ・少量パックやハーフサイズ等の小容量商品の販売と強化 ・発注量の適正化のための自動発注システムの活用 ・期限直前食品の値引き販売や、もったいないコーナーの設置 ・食材を無駄なく使う食べきりレシピの募集、提案、コンテストの開催 ・家庭で使いきれない食品を店舗で集め、食の支援を必要としている人に提供するフードドライブの実施 ・県の食品ロス削減啓発POP、ポスター掲示、店内放送等の協力 ・期間間近商品の優先購入促進キャンペーンへの協力 ・エシカル消費の啓発
	イオン株式会社	1.食品廃棄物量を2025年までに半減 (新)調理くずが発生しない献立キットの開発 (新)表示変更:自社ブランド「トップバリュ」の加工食品について、賞味期限が1年以上の商品を順次、年月表示へ切り替え (新)廃棄量の可視化 ・真空パックによる期限延長の商品拡大 ・AIによる発注精度の向上と販売方法や売り切りの変更 ・フードレスキューコーナーの常設店舗の拡大 2.食品循環モデルの構築 (新)食品廃棄物を資源として有効活用 (新)各自治体と連携しフードドライブ活動の実施
	(一社)日本チェーン ドラッグストア協会	・広報誌等による環境省、農水省からの食品ロス削減に関する協力依頼の周知 ・10月の「食品ロス削減月間」における店頭での食品ロス削減啓発キャンペーンの開催(令和2年度より開始)
	富山県商工会議所 連合会	・食べきり3015運動の実践 ・広報誌による周知
	富山県商工会 連合会	・広報誌による食品ロス削減、3015運動の周知・実践

分野	団体等名称	令和4年度以降に実施予定・検討中 (令和4年度から新たに実施するものには(新)と記載)
流通 (卸売・小売・外食)	富山県水産物 商業協同組合 連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・小容量販売、バラ売り、総菜等の値引き販売の実施 ・毎年、食ロス・食品廃棄物削減県民運動の協力をスローガンに掲げ、組合員に周知 ・食べきり3015運動の周知・実践
	富山県生活衛生 同業組合連合会	飲食関係組合加盟店での <ul style="list-style-type: none"> ・小盛(ハーフサイズ)メニュー等の提供 ・食べきれなかった場合、パック無料で持ち帰りを実施している。 ・ごはんのおかわりや小盛から大盛まで選べるメニュー等の提供で食品ロス削減の普及啓発に努める。 ・仕入れの適正化で原材料破棄ロスを目指す。 ・食べきり3015運動の実践
	富山県生活協同 組合連合会	(新)他団体と連携してフードパントリー活動の実施 (新)組合員に「てまえどり」運動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・学生へのエシカル消費学習を開催する ・他団体の事業所及びイベントでフードドライブ活動の連携 ・店舗内でフードドライブの実施 ・期間近商品の優先購入推進キャンペーンへの協力 ・小内量販売、バラ売り、総菜等の値引き販売の実施 ・売れ残りによるロスを出さないための、データ(天候、曜日、時間帯等)を活用した仕入実施 ・青果物の不良品を減らすよう、生産者や取引業者に働きかける
	富山県 ホテル・旅館生活衛 生同業組合	<ul style="list-style-type: none"> ・宴会幹事との打合せや3015運動啓発資材の配置 ・料理提供のタイミングの配慮
消費者等	(公社)富山県 栄養士会	【医療】 <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食材をローリングで献立に取り入れ、使用していく。 ・献立作成者と調理スタッフの連絡を密にとり、ムリ・ムダ・ムラのないよう、献立作成計画を心がける。 ・患者様の病室へ訪室し、嗜好や食事形態の不具合など確認し、残食が出ないように調整及び急な変更や食止めなどによる食事の廃棄を回避できるよう努めている。 ・食材の在庫状況により、納品食材の調整やメニュー変更。 ・病院食の流し献立の導入(今まではバラバラの購入) 【学校健康教育】 <ul style="list-style-type: none"> ・残食を減らすため、給食委員会による残食調べや、たべきりん運動(食べものを大切にしておかず食べきろうとする富山市の活動)の活動を行ったり、掲示資料を作成したりするなどしている。 ・規格外の地場産食材を使用する。 ・給食だより等で家庭でできる食品ロス削減やレシピの紹介。 ・教科や給食時間を利用して、食品ロスや好き嫌いをなくそうなど指導。 ・環境について学んだ学年が、校内で食品ロスに関するポスターを掲示。 【福祉(保育所)】 (新)令和4年度には、調理員研修会において、食品ロスと食育についての講義を予定している。 <ul style="list-style-type: none"> ・おいしいとやま食べきり運動実行チーム(事務局:富山市消費生活センター)による、「おいしいとやま食べきり運動」の園児への啓発活動(ポスターの掲示や給食時の呼びかけ等) ・子ども達の残食を増やさないよう、適量の提供を心掛け、保育士との情報共有を密にしている。 【福祉(施設)】 <ul style="list-style-type: none"> ・調理場だけでなく、施設全体の取り組みとして、職員間での食品ロス削減(期限切れに近い食品を持ち寄り、譲る)に努めている。 ・日々の食数管理を徹底する。 ・こまめな在庫管理。 【勤労者支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・お客様に現実を理解してもらう目的で、毎日のロスとなっている食数を掲示する予定。 ・連休前などに欠食届を提出(入力)を積極的に呼びかけている(欠食入力システムで管理している食堂) ・食品ロス対策を呼びかけ、食数調査を従業員に協力してもらっている。 ・メニューごと、食堂ごとの必要米量を把握し、毎日緻密な計算をして炊飯している。 ・発注量の調整(仕込み担当者のチェックは大きい)

分野	団体等名称	令和4年度以降に実施予定・検討中 (令和4年度から新たに実施するものには(新)と記載)
消費者等	(福)富山県 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内職員を対象に常時フードドライブを呼びかけ、収集食品を富山県東部生活自立支援センターの相談者へ配布 ・食品ロス削減のため、売れ残り食品をこども食堂等で食材として活用する事業の拡充
	富山県PTA連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・県PTA連合会や単位PTAの広報紙を活用した周知・啓発 ・懇親会等で3015運動の協力依頼
	富山県環境保健 衛生連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス対策を今年度の重点事項とし、各市町村協会に取組みを働きかけ ・フードドライブの開催 ・小中学校を対象とした「環境に関する壁新聞・ポスター募集」事業の内容に、「食品ロス」問題を加えて募集 ・食品ロス削減に関する研修会への参加
	富山県消費者協会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度消費生活研究グループ活動目標に、「エンカル消費」(「SDGs」の目標達成に貢献する具体的な消費行動)を明記し、その一環として、食品ロス・食品廃棄物の半減を目指すための実践行動を促す。具体的には、家にある食材のチェック、使い切れる分だけ買う、すぐに使うものは陳列棚の手前から取るなど、日常の買物に配慮する。(令和3年10月「富山県SDGs宣言」(知事政策局)に参加し、活動目標に「食品ロス削減」を明記している。) ・(拡)企業参加型エンカル消費PR事業(県の委託事業):エンカル消費の啓発普及のため、県内のスーパーやコンビニ等の店舗における啓発イベントや、エンカルセッション等を実施する。 ・(拡)フードドライブ・マッチング推進事業(県の委託事業):フードドライブが定着するよう、県民の理解を深め実践を促す普及啓発事業を実施する。 ・くらしのアドバイザーによる「くらしの相談会」や「大学生による中高生のための消費者教育モデル事業」の活動メニューに「エンカル消費」や「食品ロスの削減」を明記し、消費者や若い世代への普及啓発に努める。 ・消費者大会や環境フェア等のイベント開催時に、「食品ロス等の削減」や「フードドライブ」のパンフを配布するなど、啓発普及に努める。
	富山県食生活改善 推進連絡協議会	<p>(新)フードドライブの普及啓発を図り各市町村協議会で、年間1~2回実施することを目標に取り組む。</p> <p>(新)サルベージパーティを各市町村協議会の推進員を対象に行い、コロナ禍で調理実習が困難なところは紙上でのレシピを考案し、更に各公民館単位での活動に取り入れ、草の根的な活動を図る。</p> <p>(新)過去における様々な食品ロス削減活動を基盤に、SDGsの目標【12】「つくる責任 つかう責任」と【3】「すべての人に健康と福祉を」を重点的に啓発していく。</p> <p>○フードドライブの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブ講習会を開催し、地域に普及啓発すると共に実施できる協議会から行った。 ・令和3年8月19日(木)小矢部市食生活改善推進協議会が実施。フードバンクとなり提供した。 ・令和3年12月13日(月)~14日(火)朝日町食生活改善推進連絡協議会が実施。112名より555点210kgの寄贈があり、朝日町社会福祉協議会へ提供した。 <p>○サルベージ・パーティの普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年各市町村協議会のリーダーを対象にサルベージ・パーティー講習会を開催している。 各自家庭で使いそびれている食材を1品ずつ持ち寄り、グループ毎にレシピを考案し調理をする。食材の異なる使い方の発見や、新メニューの開発にもつながっている。 ・コロナ禍で調理実習ができないところは紙上でレシピを考案し、ユニークなメニュー名を付けるなど楽しく実施した。 ・講習会や講演会の講師依頼を受け、資料やパンフレットを配布し、パーティーの開催手順や、食品ロス削減等について普及啓発を行った。 <p>○ベジブrossの効能普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭で捨てている野菜の外葉や皮、根、芯などで作るブross(出汁)は抗酸化作用があり免疫力が高まることが知られている。各料理に利用することで健康的で、料理の旨味が増すことや、出汁をとった後はポタージュにするなど、食材を丸ごと使い切る料理の普及とレシピの配布を行っている。 ・令和3年3月作成の「若い世代の食育ガイド」を若い世代を対象にした事業や各イベントで配布し、食品ロス削減、エンカル消費等、SDGsの普及啓発をしている。

分野	団体等名称	令和4年度以降に実施予定・検討中 (令和4年度から新たに実施するものには(新)と記載)
消費者等	(続き) 富山県食生活改善 推進連絡協議会	<p>○各世代への普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児と小学生、高校生以上の若者世代・働き世代・高齢世代(シニアカフェ)を対象にした事業(各市町村協議会で年間十数回)で、講義及び調理実習(レシピ集・啓発チラシ・食品ロス削減クイズ等)を作成・配布・等)を行い、生産から買い物、片付けまでを踏まえたエコクッキングを普及している。(エコクッキングの冊子は平成22年に発行済) ○地域住民への普及啓発 ・各地区のイベントや公民館単位で開催される教室等で地産地消や、食品売り場では手前から取るように、またその日に食べるものは見切り品を買うなど、具体的な実践活動を普及している。
	富山県婦人会	<p>(新)地域の子どもたちを対象に「食品ロス削減の取組」について すっきりんごちゃんのDVDを流し、パワーポイントで説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロス削減に関する研修会実施(講演、グループ討議、発表) ・「定期的な冷蔵庫チェック、食材の使い切り(毎月30日、15日)」や宴会時における3015運動実施を呼びかけ ・買い物方法の見直しを呼びかけ(必要な量だけ購入、期限間近な商品から購入など) ・サルベージ・パーティの開催 ・地元の郷土料理講習会で、食材の使い切りなど、食品ロス削減を啓発 ・春夏秋冬の季節ごとに家庭から出るごみを分別し計量する活動を通して、食品ロス削減(生ごみ削減)を図ろうとする意識向上 ・食品ロス削減のレシピを募集。提供されたレシピによる調理実習の実施、広報誌等での紹介。
	(公財)とやま 環境財団	<p>(新)フードドライブマッチング推進事業(県委託事業):フードドライブ実施団体への資機材等の貸出支援や常設窓口(無人)設置の普及拡大を図るほか、新たに地域の実情に応じたフードドライブのローカル循環モデルの構築を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページやメールマガジン、啓発イベント(とやま環境フェア、富山県ごみゼロ推進県民大会、その他団体等が実施する環境関連イベント)などでの食品ロス削減の普及啓発 ・とやま環境未来チャレンジ事業(県委託事業):小学校に講師を派遣し、食品ロス削減など環境に関する学習プログラムを実施するほか、授業などで活用してもらうための副読本を配布する。 ・サルベージ・サポーターマッチング事業(県委託事業):サルベージ・サポーターの活動支援を行うとともに、取組み拡大に向けた普及啓発を行う。

食品ロス等の削減に向けた市町村の取組計画

分野	市町村名	令和4年度以降に実施予定・検討中 (令和4年度から新たに実施するものには(新)と記載)
市町村	富山市	<p>(新)富山市食品ロス削減推進計画を富山市廃棄物処理計画(後期)の中に位置づけて策定(計画は3月中に策定の見込み)</p> <p>(新)市内保育所(園)の調理員を対象とした研修会において、園児に食品ロスに対する興味を持たせることをテーマにした講演会を実施する</p> <p>(新)学校現場での食育活動と連携しながら、給食の食べ残しの減少に繋げるため、「たべきリン」シールの活用を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしいとやま食べきり運動と合わせて、広報誌への記事掲載やホームページ、出前講座による周知・啓発を行う ・フードドライブの実施 ・小、中学校、幼稚園、保育所(園)への啓発活動(給食時の校内放送・ポスター掲示)
	高岡市	<ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブの実施 ・市役所ロビーで食品ロス削減等啓発パネルを展示し、市民に周知 ・食品ロス等に関する出前講座や啓発活動を消費者団体に委託 ・市が活動支援している栄養士と連携した食育活動(児童への食に関する指導など) ・給食等の残食調査を実施し、結果を踏まえ食べ残しが減るような献立の考案 ・市内の幼稚園や保育園の園児を対象にした嗜好調査を実施し、結果を反映したリクエスト献立の実施(食べ残しの削減) ・高岡市食生活改善推進員養成講座にて、食品ロスにつながる講義を行う。
	魚津市	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の残食率を各学校に掲示して意識啓発 ・食育の推進 ・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発
	氷見市	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシを担当課の窓口に設置 ・食育の推進 ・生ごみ処理機の購入費補助 ・氷見市環境保健衛生協会と氷見市連合婦人会の共催によるフードドライブ実施を支援
	滑川市	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌、市ホームページ及び啓発チラシによる食品ロス、3015運動の周知啓発 ・生ゴミ処理機の購入費補助 ・廃食用油を資源物として回収、再資源化 ・エコクッキング(食品ロスの削減に留意したメニューの普及啓発) ・食育の推進(食生活改善推進員の研修会) ・市内飲食店に県作成の啓発物品を配布
	黒部市	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や関係会議等での食品ロスに関するチラシの配布 ・食育の推進 ・食生活改善推進連絡協議会が食品ロスについて学び、地区へ伝達する。 ・フードドライブの実施促進
	砺波市	<p>(新)フードドライブの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市ごみ袋に食品ロスのPR広告を掲載 ・生ごみ処理機の購入費補助 ・廃食用油を資源物として回収、再資源化 ・食育の推進 ・広報誌、ホームページによる食品ロス、3015運動の周知啓発
	小矢部市	<ul style="list-style-type: none"> ・小矢部市環境保健衛生協議会と小矢部市で小矢部市社会福祉法人連絡会のフードドライブおやべ事業に加わる。 ・食品ロス対策チラシを配布し、3015運動を周知啓発 ・3015運動を呼びかけるコースターを市内飲食店で配布し、食品ロス削減を周知啓発 ・広報誌による食品ロス対策、3015運動の周知啓発 ・夏休みの応募作品として食品ロス削減啓発ポスター・壁新聞を募集 ・小矢部食品衛生協会へ食品ロス対策助成 ・食育の推進

市町村	南砺市	<ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブの実施(市環境保健協議会との共催) ・学校給食の食品ロス(食材廃棄部分を減らす献立の考案) ・食品ロス削減に向けた啓発チラシの作成 ・南砺市指定ごみ袋へ使い切り等を啓発する広告を掲載 ・市ホームページによる食品ロス、3015運動の周知啓発 ・食育の推進 ・生ごみ処理機購入費補助 ・廃食用油の資源回収・再資源化
	射水市	<ul style="list-style-type: none"> ・フードドライブの実施 ・市役所食堂に食品ロス削減啓発立て札を掲示 ・夏休みの応募作品として、地球温暖化防止(食品ロス削減・海洋プラスチック問題)啓発ポスター・壁新聞を募集 ・市政出前講座「食品ロス・食品廃棄物の削減」の実施 ・いみず環境チャレンジ10の実施 ・可燃物収集委託車両への食品ロス削減啓発ステッカーの貼り付け ・指定ごみ袋に食品ロス削減啓発ロゴマークを掲載 ・市ホームページにて食品ロス削減を啓発(新型コロナウイルスにより、3010運動のページは一時閲覧停止中) ・生ごみ処理機の購入費補助
	舟橋村	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌・ホームページによる3015運動の周知啓発 ・食育の推進
	上市町	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌による食品ロスの周知啓発 ・食育の推進 ・小中学生を対象に「かみいち食べきるゾウ運動」の実施 ・生ごみ処理機の購入費補助
	立山町	<p>(新)フードドライブの実施(立山町社会福祉協議会で実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校への期限間近の備蓄食料の提供 ・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発 ・町給食センター、保育所、役場に生ごみ処理機をそれぞれ設置し、各所で生ごみを処理し、堆肥として再利用 ・食育の推進 ・生ごみ処理機の購入費補助
	入善町	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別に関する出前講座等で食品ロス削減の周知・啓発 ・食育の推進 ・廃食用油を資源物として回収、再資源化(学校給食) ・広報誌による食品ロス3015運動の周知 ・飲食店に食品ロス、3015運動チラシを配布し協力を依頼 ・生ごみ処理機の購入費補助 ・「食品ロスの削減」に関するエコライフモニターの実施
	朝日町	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌による食品ロス、3015運動の周知啓発 ・食育の推進 ・生ごみ処理機の購入費補助